

# 平成27年3月期（第18期） 第2四半期決算説明会

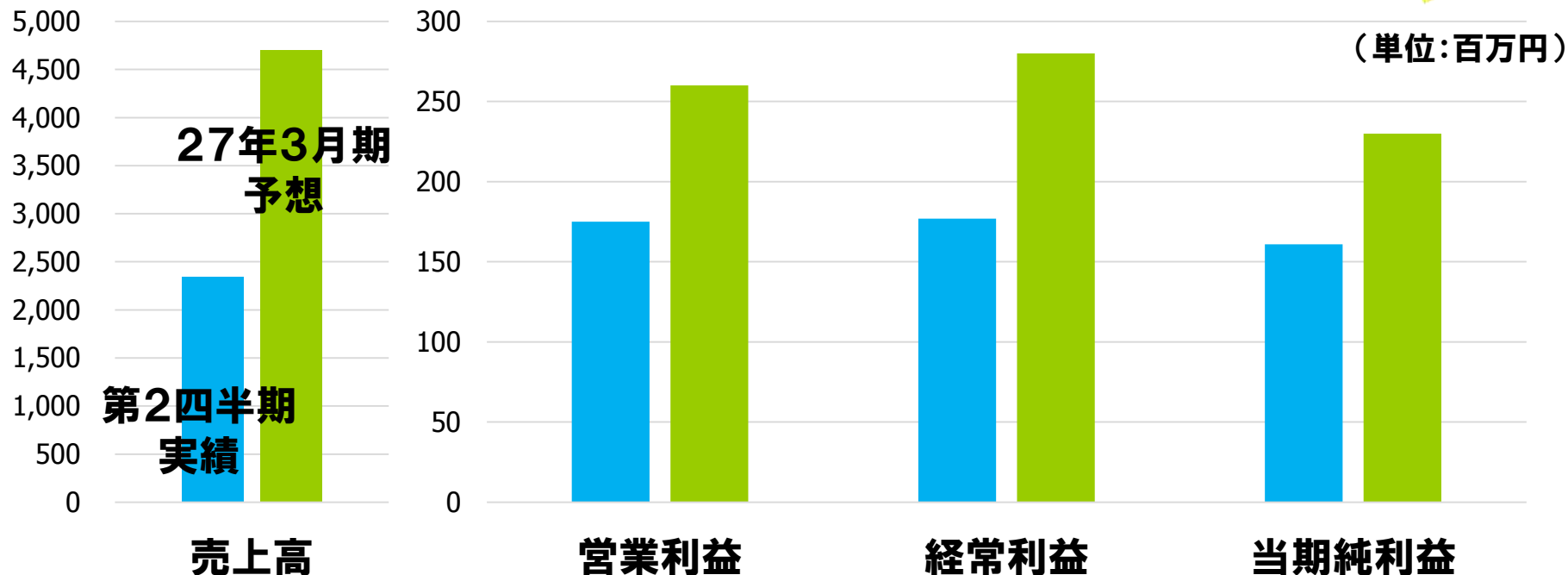
平成26年11月5日

## 株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。



# 27年3月期 第2四半期実績ハイライト



	平成27年3月期				
	2Q実績	通期予想	進捗率	前期実績	対前期増減
売上高	<b>2,346</b>	<b>4,700</b>	49.9%	<b>2,095</b>	+11.9%
営業利益	<b>175</b>	<b>260</b>	67.3%	<b>60</b>	+191.5%
経常利益	<b>177</b>	<b>280</b>	63.2%	<b>74</b>	+137.0%
四半期純利益	<b>161</b>	<b>230</b>	70.0%	<b>80</b>	+100.3%

# 四半期決算 連結損益計算書

	当期(H26 4-9月)	(構成比)	増減率	前年同期	(構成比)
売上高	2,346,124	100%	11.9%	2,095,976	100%
売上原価	1,372,640	58.5%	8.4%	1,265,179	60.4%
売上総利益	973,484	41.5%	17.1%	830,796	39.6%
販売費及び一般管理費	798,347	34.0%	3.5%	770,714	36.8%
営業利益	175,136	7.5%	191.5%	60,081	2.9%
経常利益	177,160	7.6%	136.9%	74,766	3.6%
税金等調整前四半期純利益	176,566	7.5%	68.5%	104,730	5.0%
四半期純利益	161,906	6.9%	100.3%	80,813	3.9%

## 内的要因

- ◆ 原価率、販管费率ともに前年比改善し利益幅拡大
- ◆ 前年同期譲渡による特別利益が30百万円あったことを勘案すると改善幅大

## 受注動向

- ◆ Jストリーム単体:2Qの各月とも目標値を上回る受注・売上を確保でき想定以上の売上。子会社売上も前期合計683→740
- ◆ ライブ需要、特に医療系業界が好調

# 連結バランスシート

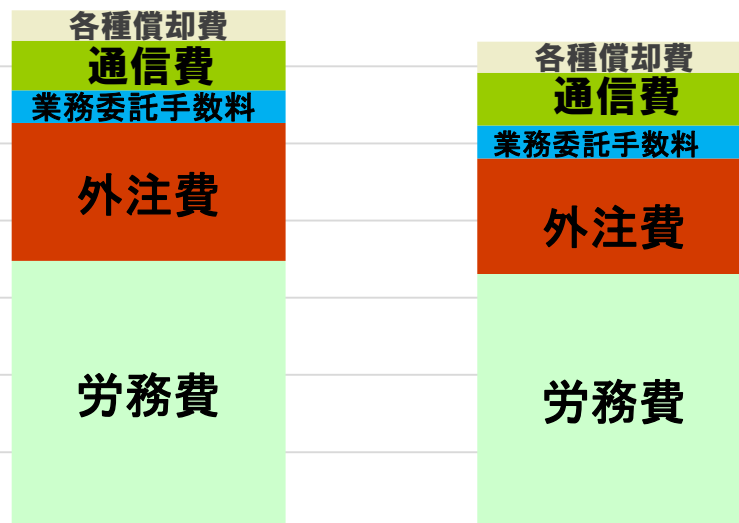
		H26,2Q末時点	主な変動要因	前期末	前年同期
資産の部	流動資産	2,984,558	預け金 50M積増し	2,809,656	2,361,410
	固定資産	714,659		721,979	768,881
	有形固定資産	229,715		245,765	262,621
	無形固定資産	369,692		355,116	358,383
	投資その他の資産	115,251		121,098	147,876
資産合計		3,699,218		3,531,636	3,130,291
負債の部	流動負債	454,192		459,255	356,721
	固定負債	114,697		113,632	104,845
純資産の部	株主資本	資本金		2,182,379	2,182,379
		資本剰余金	626,241	626,241	626,241
		利益剰余金	581,644	419,737	145,953
		自己株式	△459,182	△459,182	△459,182
	評価・換算差額等	892	1,176	2,177	
	少数株主持分	198,353	188,395	171,156	
	純資産合計	3,130,327	2,958,748	2,668,725	
負債・純資産合計		3,699,218		3,531,636	3,130,291

◆前年度末からは大きな変動なし。前年同期対比では預け金が増加

(単位:千円)

# 売上原価(連結)主要項目

1400  
1200  
1000  
800  
600  
400  
200



人的費用の合計 (単位:百万円)  
(労務費+外注費+業務委託手数料)  
**1,137百万円**  
(前年度:1,047百万円対比+8.6%)

連結従業員数 321名  
(前年度:309名)

個別従業員数  
(子会社への出向者除) 202名  
(前年度:191名)

H26 4-9月

H25 4-9月

(単位:百万円)

	当期(H26 4-9月)		増減率	前年同期	
労務費	<b>695</b>	50.7%	+5.1%	<b>662</b>	52.3%
外注費	<b>357</b>	26.1%	+19.3%	<b>299</b>	23.7%
通信費	<b>128</b>	9.4%	△6.3%	<b>137</b>	10.9%
業務委託手数料	<b>84</b>	5.8%	△1.5%	<b>85</b>	6.8%
各種償却費	<b>79</b>	5.8%	△0.7%	<b>79</b>	6.3%
その他(地代家賃等)、振替等	<b>26</b>	1.9%	—	<b>0</b>	0.0%
<b>売上原価合計</b>	<b>1,372</b>		+8.5%	<b>1,265</b>	

- ◆ 原価部門人員増加等により労務費が増加
- ◆ 制作受注増に伴い外注費増加
- ◆ サーバー移設等に伴い通信費削減

(単位:百万円)



◆ 前年同期対比大きな変動のあった項目はない

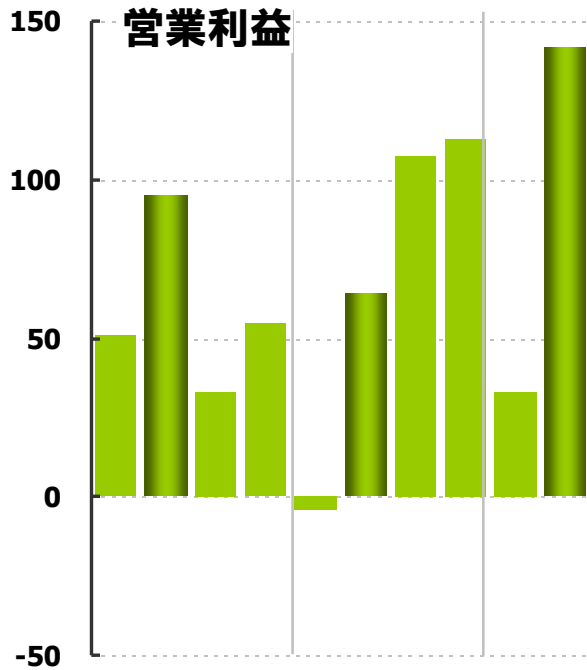
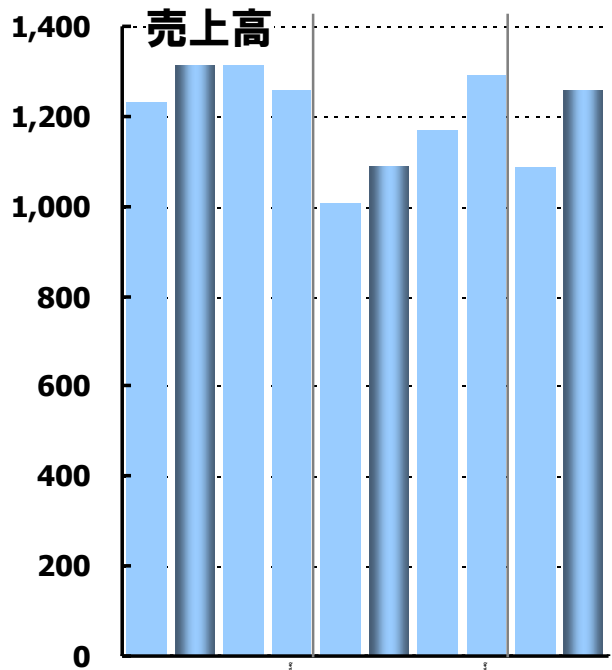
H26 4-9月

H25 4-9月

(単位:百万円)

	当期(H26 4-9月)		増減率	前年同期	
人件費	427	53.5%	+5.9%	403	52.3%
販売支援費	85	10.8%	+0.2%	85	11.1%
地代家賃	32	4.1%	△6.5%	35	4.6%
販売促進費・広告宣伝費	32	4.0%	+13.5%	28	3.7%
その他	220	27.6%	+1.0%	217	28.3%
販管費合計	798		+3.6%	770	

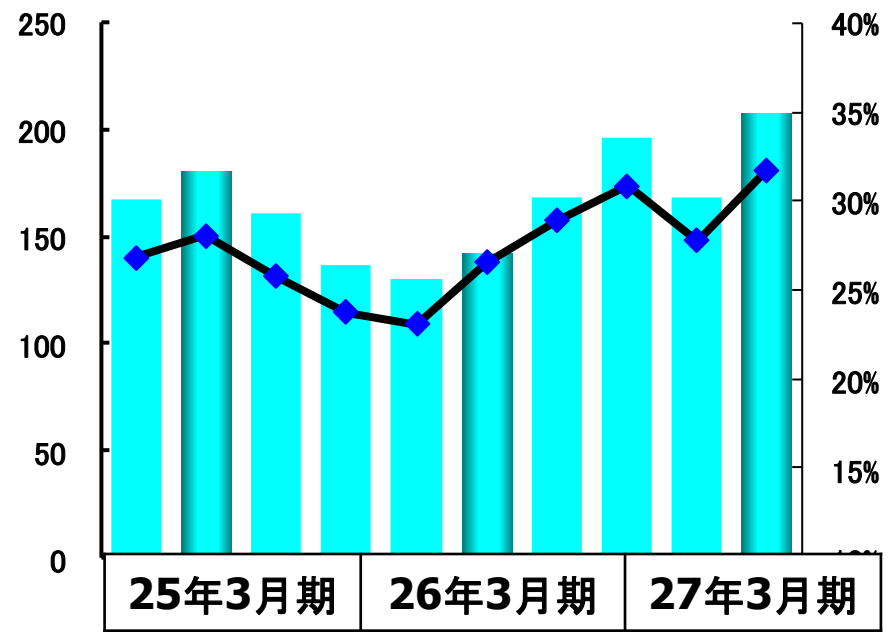
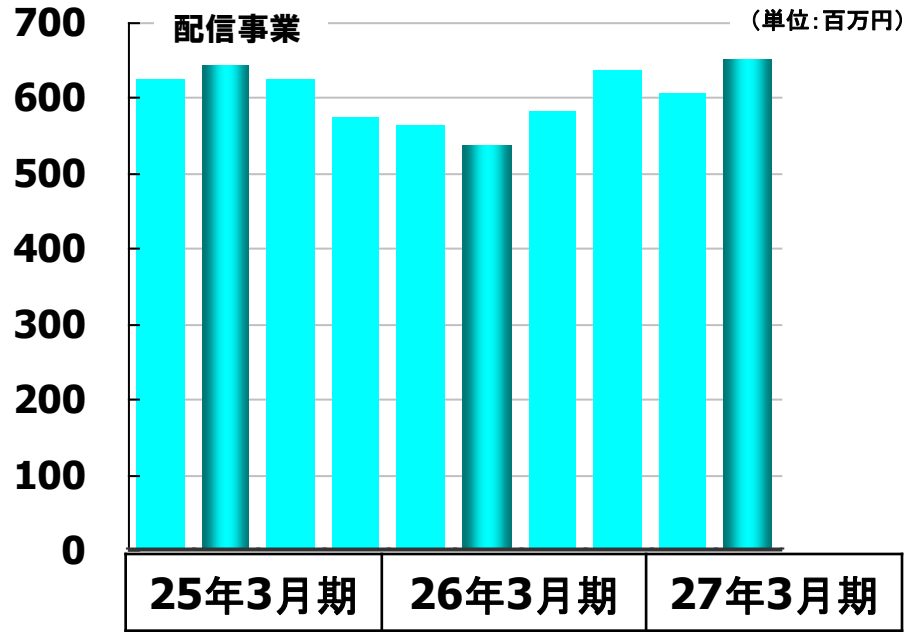
# 四半期別売上、利益推移(連結)



- ◆ ライブ売上好調 + 自社サービスEquipmedia展開により動画プラットフォームサービスの切替に伴う売上減少を取り戻す。
- ◆ より利益率の高い自社サービス提供を進めたことにより利益率を改善。

	25.1Q	25.2Q	25.3Q	25.4Q	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q
売上高	1,230	1,311	1,315	1,259	1,005	1,090	1,168	1,288	1,086	1,260
営業利益	50	95	33	54	△4	64	107	112	33	142
純利益	56	68	13	50	24	56	157	116	28	133
売上高	2,542		2,674		2,095		2,456		2,346	
営業利益	145		87		60		220		175	
純利益	125		63		80		273		161	

# セグメント売上・営業利益状況：配信事業



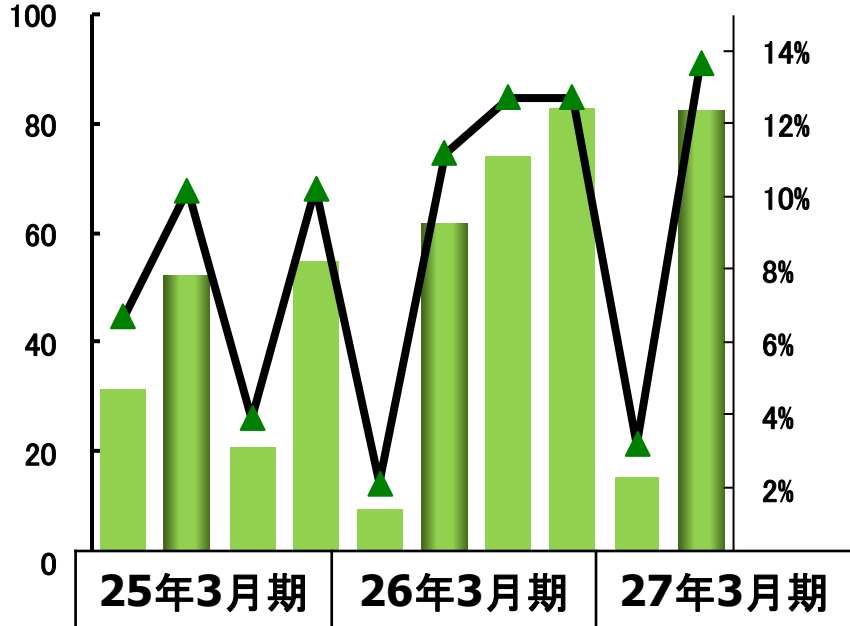
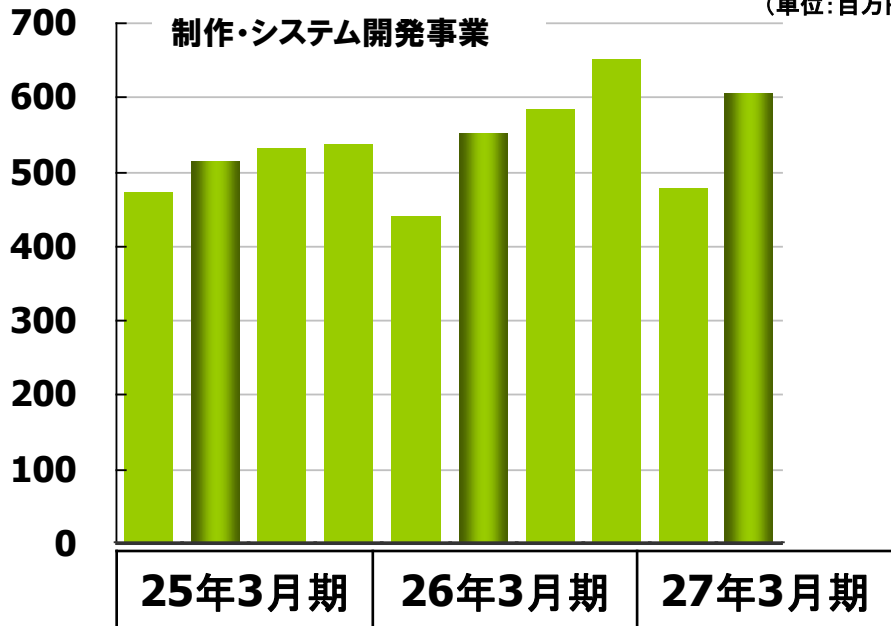
	25.1Q	25.2Q	25.3Q	25.4Q	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q
配信	623	643	624	574	563	535	582	635	606	652
	167	180	160	136	130	142	168	195	168	207
	26.8%	28.1%	25.8%	23.8%	23.1%	26.5%	28.9%	30.8%	27.8%	31.7%

◆ 医療系の利用を中心にライブ受注好調。ガラケー向け等アプリは減少したがライブネットワーク売上の伸びが上回る。

◆ オンデマンド配信は前年と同水準だがEQを中心のサービス構成となったことでアプリとあわせた配信全体の利益率が改善。引き続きEQの機能増強、ライブ系・スマホ向けサービス開発を促進。



# セグメント売上・営業利益状況：制作・システム開発事業



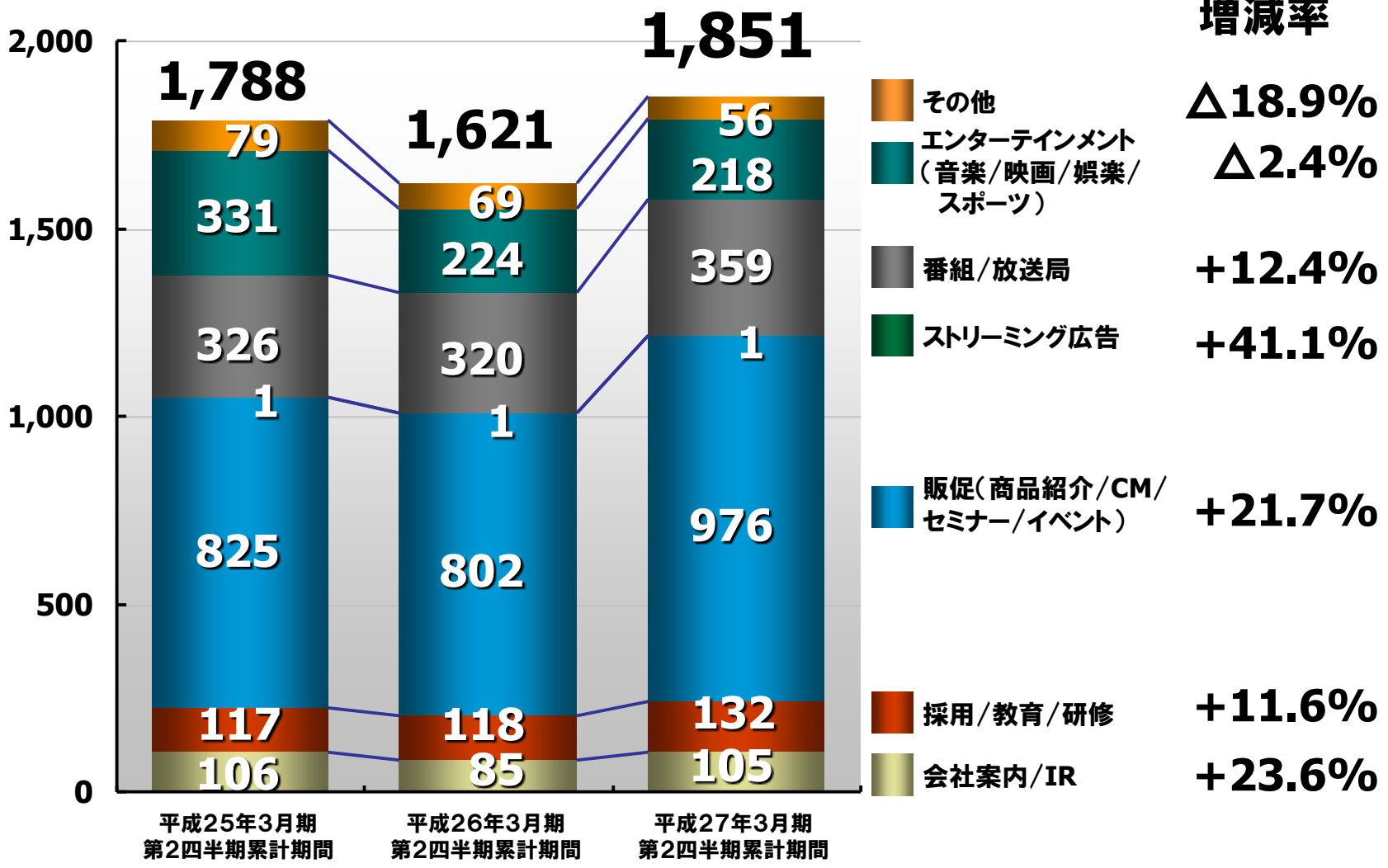
	25.1Q	25.2Q	25.3Q	25.4Q	26.1Q	26.2Q	26.3Q	26.4Q	27.1Q	27.2Q
制作	470	513	530	536	438	551	582	651	477	604
	31	52	20	54	9	61	74	83	15	82
	6.7%	10.2%	3.9%	10.2%	2.1%	11.2%	12.7%	12.7%	3.2%	13.6%

◆ システム系案件は減少

◆ 販促情報提供系の映像制作、その配信サイト関連の制作受注が好調。前年同期対比大幅に伸長。

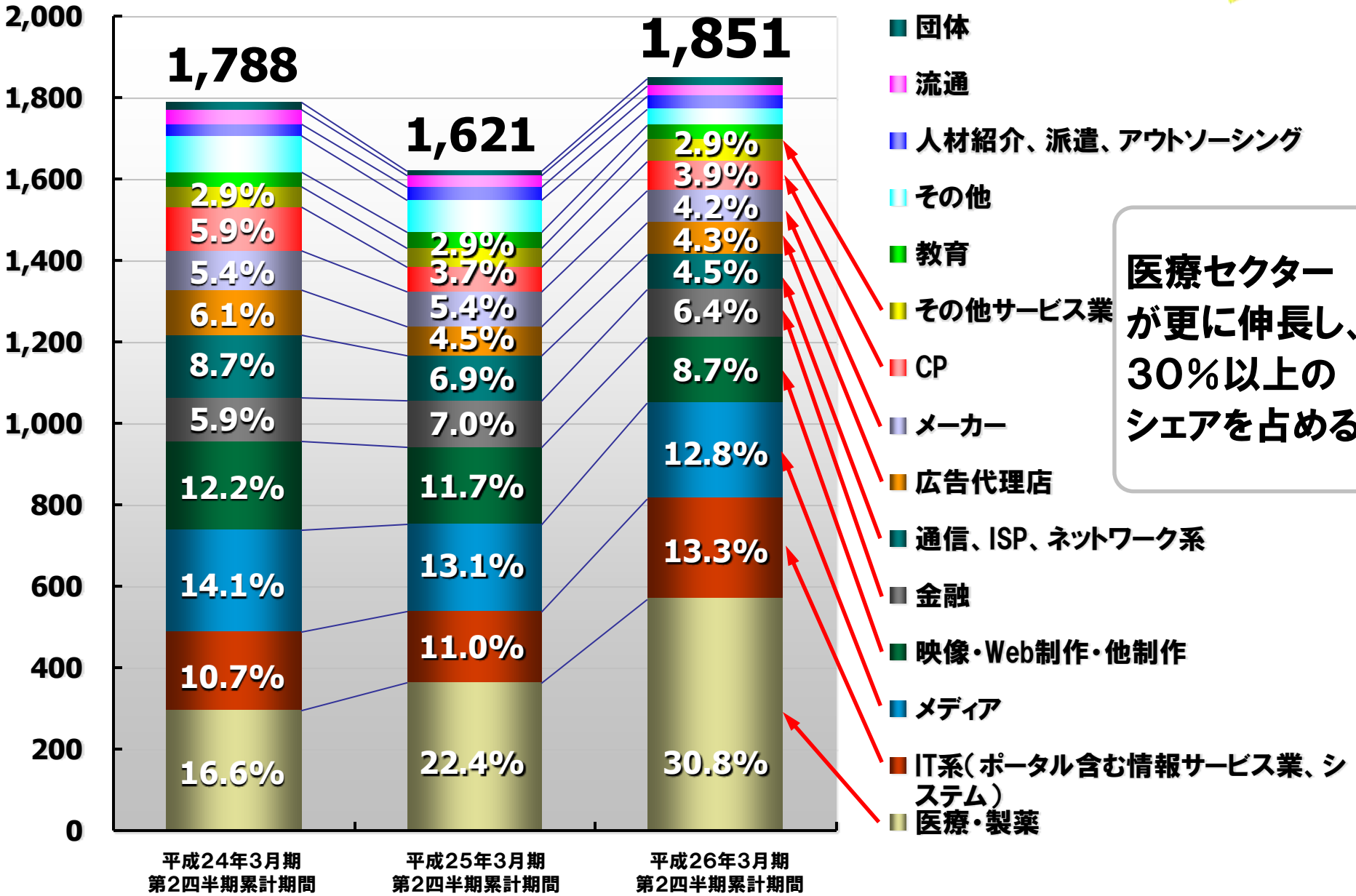
◆ 既存顧客からの案件を開拓できる体制整備／制作能力・スキルの向上を図っている

# 用途別売上比率(個別)



◆ エンタメ系案件を除き全社売上増に伴って各用途で増加傾向。販促系の伸びは医療系の情報提供案件の影響が大きい。

# 業種別売上比率(個別)



# 設備投資計画(連結)

	投資項目	実施額 (年間予定額)
27年 3月期	<b>■ 配信事業関連</b> ネットワーク ハードウェア 2 (80) ネットワーク ソフトウェア (60) サービス系アプリケーション 66 (135)	<b>97</b>  <b>(345)</b>
	<b>■ 制作・システム開発事業関連</b> キャプチャー・ファイルサーバーシステム、 エンコーダー 等 2 スタジオ機器 22	
	<b>■ その他(管理系含む)</b> 業務支援システム、福岡ラボ等 5 (50)	

- ◆ Equipmediaの機能開発関連ソフトウェア開発が中心
- ◆ 3Q:開発方針継続 + サテライトオフィス関連を予定

# 最近のトピックス

# 研究・開発拠点を開設(福岡)

**【背景】自社サービスの開発ニーズの高まりと  
開発人員採用競争の激化への対応**

**技術開発の効率化と技術者の円滑な採用を  
図り、福岡に研究・開発拠点となる  
「福岡ラボ」を11/1開所**

**自社サービスの開発を中心に  
業務を行う方針**



# 最近のトピックス

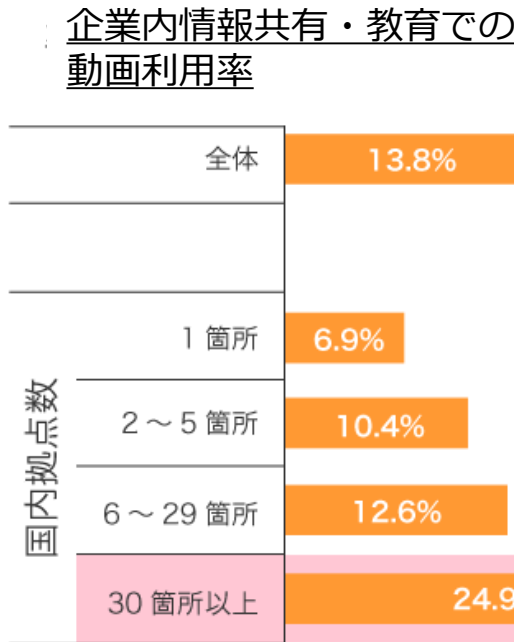
## ◆ 企業内の情報共有・教育での動画活用に関する調査を実施

### ■ 調査結果(抜粋)

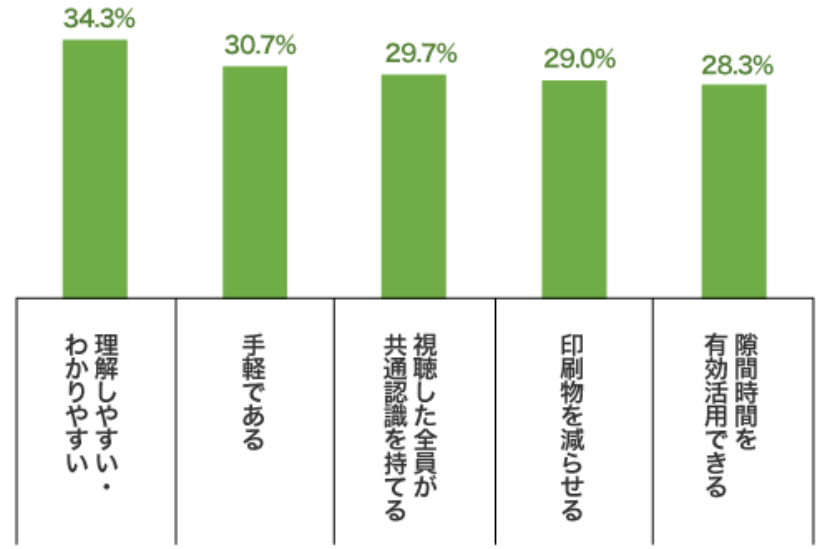
○国内拠点数30箇所以上の企業では、25%が情報共有に動画を活用。

拠点数が増加するほど、動画の利用率が高くなっています。

○動画利用者が感じているメリットは「わかりやすさ」  
「わかりやすさ」は、  
コンシューマ向けの動画でも常に上位に挙がるメリットですが、企業内の情報共有でも同様でした。



企業内情報共有・教育で動画利用者が感じている動画のメリットTOP5



## ◆「音楽ストリーミングサービス」で独自の ビジネス展開を可能にする新サービスを提供開始

「SecureCast Plusストリーミング配信オプション」で、コンテンツのストリーミング配信だけでなく、Android・iOSの両方に対応するWeb(HTML5)ベースの音楽プレイヤーも提供。コンテンツホルダー・コンテンツプロバイダーが他社のプラットフォームに依存せずに独自の音楽ストリーミング配信サービスを開始できる。期間限定のファンサービスやキャンペーン特典としての配信など短期間の利用も可能。

### 【CPにとってのメリット】

- 短期間でも利用でき、プレイリストも管理画面で簡単に設定できるなど、手軽
- アプリ開発やテスト、アプリストアへの申請等を削減でき、サービスインまでの準備期間を短縮
- プレイヤーのカスタマイズ性が高く、アーティストの世界観やイメージに沿ったプレイヤーでサービスを展開可能

「音楽ストリーミング配信サービス」は、最大手のSpotifyが全世界でユーザー数4,000万人を突破するなど世界的に市場が急拡大しており、日本でも今後市場の拡大が予想されています。



# 27年3月期 今後の方針

- **社数(窓口)拡大に注力**
- **成長しているライブ商品の拡販**
- **新規事業強化→動画広告の事業化推進**

## 実現するために

- ◆ **営業体制強化・販売促進強化・メディカル分野のさらなる開拓**
- ◆ **ライブ人員強化・商品力強化・業界特化**
- ◆ **受託制作、映像制作、顧客課題に対するプランニング強化、制作の効率化**
- ◆ **サテライトオフィス・海外展開検討**

# 業績予想値 ~変更なし

	平成27年3月期		
	2Q実績	通期予想	進捗率
売上高	2,346	4,700	49.9%
営業利益	175	260	67.3%
経常利益	177	280	63.2%
四半期純利益	161	230	70.0%

## 3Q以降の注力ポイント

- 引き続き新規契約／主力商品の拡販に注力
- 運用定例案件創出
- 技術開発拠点稼働

# 説明内容についてのお問合せ先

**決算説明内容についてのお問い合わせは**

**【メール】**

<http://www.stream.co.jp/contact/ir/privacy/>  
(お問い合わせフォーム)

**【電話】**

**電話 03-5765-7744 (総務部広報IR課)**

**よりお寄せください。**